

全国学力学習状況調査の分析結果について

国語について

国語科では、話すこと、聞くことにおいて、話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたり話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたり深めたりすることができています。

特に「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」、「質問の意図を捉える」ことに対しては、相当数の生徒が身に付けていました。

しかし「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」「文脈の中における語句の意味を理解する」ことについては、課題が見られました。2学期以降に扱われる単元で、説明的な文章だけでなく、物語文やエッセイを読む際に、段落相互の関係や文章構成に着目して読む活動を取り入れていきます。

数学について

数学科では、データの活用において、日常生活や社会における問題を取り上げ、その問題の解決のために収集したデータの傾向を的確に捉えることができています。

特に「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて、説明する」、「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る」ことに対しては、相当数の生徒が身に付けていました。

「ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する」、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」ことについては課題が見られました。図形を動かしたとき、それを数学的に表現する活動を充実させ、いつでも成り立つ事柄を見いだす活動を取り入れていきます。

生徒質問紙について

学校生活では、本年度の組織目標「主体的に考え、判断し、勇気をもって行動する!」を教師、生徒、保護者ともに理解し、実践することができたことで、昨年度と比較し多くの項目で前向きな回答をする生徒が増えました。

本校の生徒質問紙の結果から、朝食の摂取、家庭での学習時間についての質問では、課題があることがわかりました。今後はキャリア学習の視点から生活を見直し、自己管理能力の育成に努めていきます。ご家庭でも、将来のことなどについてお子様と話し合ってください。